

# ナイフを使う時の約束



はじめてナイフを使うあなたのために、約束してほしいことがあります。ナイフは正しく使えば大変便利なものですが、使い方をまちがえるとケガにつながる危険なものです。右ページの注意を必ず守ることを約束してからナイフを使いましょう。



1 ナイフを人に向けてない。



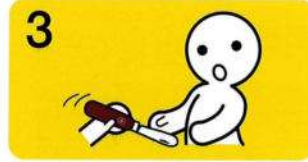
5 使わない時は刃を閉じる。



2 ナイフを使っている人のちかくでふざけない。



6 学校に持って行かない。



3 刃を開いたままで人に手わたさない。



7 友だちと貸し借りしない。



4 刃を開いたまま持ち歩いたり、ふりまわしたりしない。



8 子どもだけで使わない。

保護者の方へ

6、7、8は、子どもの判断力や地域の環境に応じて柔軟に内容を変えてください。

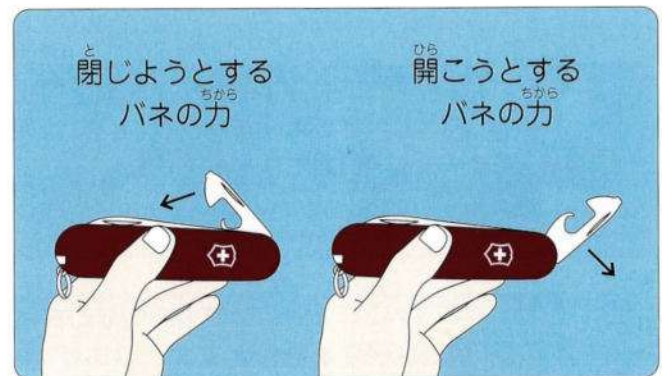
## ビクトリノックス・マルチツールの基本的な開き方・閉じ方の練習

ビクトリノックス・マルチツールの道具(ナイフやカン切りなど)ひとつひとつには、安全に使えるようにバネが効いています。

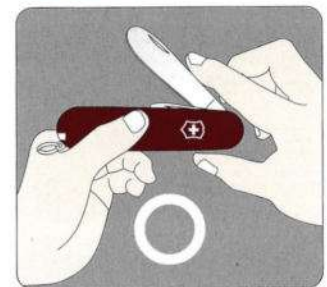
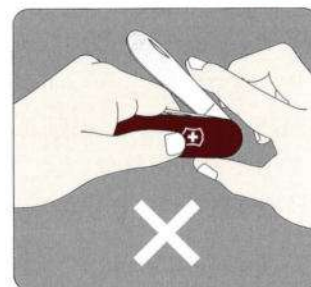
まずはこのバネの効き方を知り、どの位置でバネの力が働くのかを覚えましょう。

はじめは「カン切り」で開いたり閉じたりする練習をしましょう。

「カン切り」を使った練習に慣れたら「ナイフ」で同じように練習してみましょう。



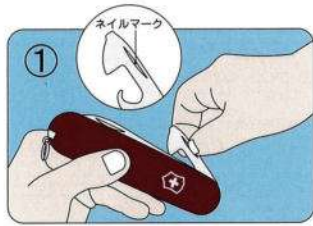
### [練習中の注意]



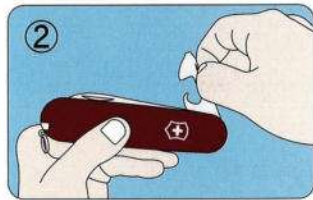
マルチツールが閉じる方向に手を置くとバネの力で急に閉じ、手を傷つける場合があります。閉じる時は、必ず持ち手を閉じる場所に置かないようにしましょう。



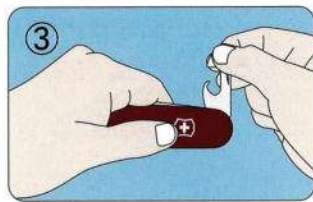
安全に道具(カン切り)を開く方法



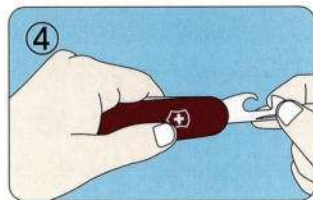
① 右手の親指の爪をカン切りのネイルマーク(みぞ)に入れてひっかけます。



② 人差し指でカン切りの裏側をおさえてつまみあげ、半分(90度)まで開きます。カン切りはバネの閉じる力が効かない位置で止めます。

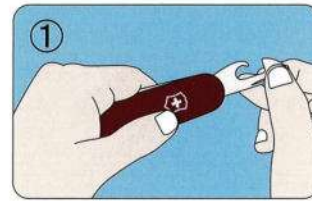


③ 左手で本体をしっかりと握りなおし、右手はカン切りを親指と人さし指、中指の三本指で刃に触れないように注意しながらはさみます。

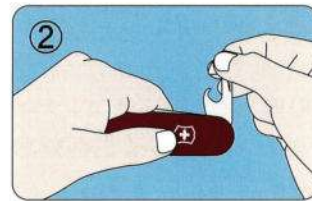


④ 残り半分を開きます。カン切りについているバネの開く力でカチッと止まるまで(180度)開きます。

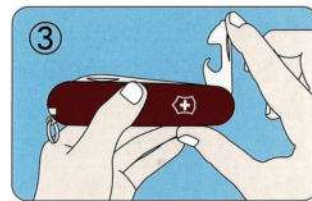
安全に道具(カン切り)を閉じる方法



① 左手でしっかりと本体を持ち、右手の三本指でカン切りをはさみます。



② カン切りを半分(90度)まで閉じます。カン切りはバネの開く力が効かない位置で止めます。



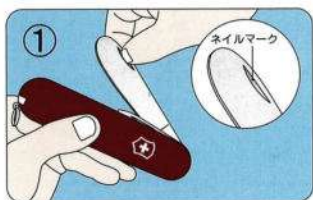
③ 本体を持った手をカン切りの閉じる場所に置かないように持ち替えます。



④ カン切りの背をバネの閉じる力が効くところまで押し、残り半分を閉じます。

安全に道具(ナイフ)を開く方法

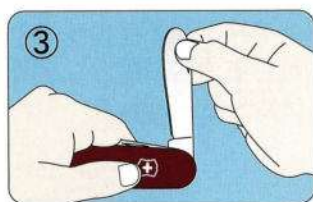
難しい時は無理せず大人に手伝ってもらいましょう。



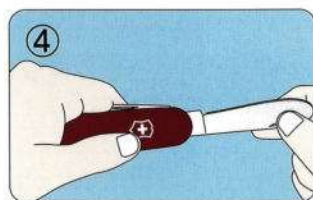
① 右手の親指の爪をナイフのネイルマーク(みぞ)に入れてひっかけます。



② 人差し指でナイフの裏側をおさえてつまみあげ、半分(90度)まで開きます。ナイフはバネの閉じる力が効かない位置で止めます。



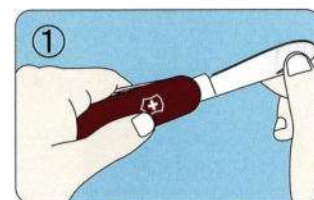
③ 左手で本体をしっかりと握りなおし、右手はナイフを親指と人さし指、中指の三本指で刃に触れないように注意しながらはさみます。



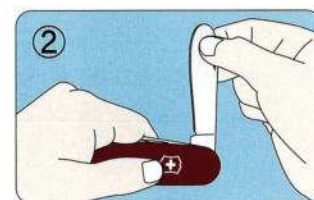
④ 残り半分を開きます。ナイフについているバネの開く力でカチッと止まるまで(180度)開きます。

安全に道具(ナイフ)を閉じる方法

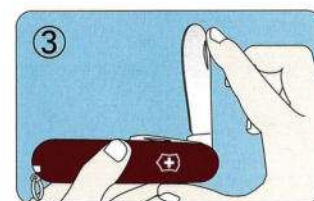
難しい時は無理せず大人に手伝ってもらいましょう。



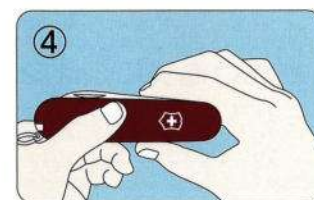
① 左手でしっかりと本体を持ち、右手の三本指でナイフをはさみます。危険に見えますが左手でハンドルを握ることでしっかり力が入ります。



② ナイフを半分(90度)まで閉じます。ナイフはバネの開く力が効かない位置で止めます。このとき脇をしめて肘を固定することにより動作が安定します。



③ 本体を持った手をナイフの閉じる場所に置かないように持ち替えます。

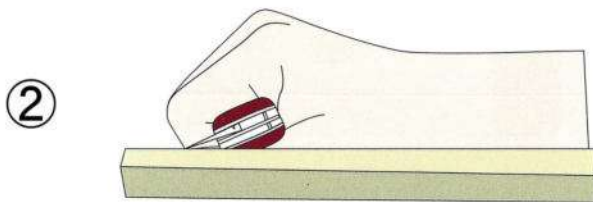
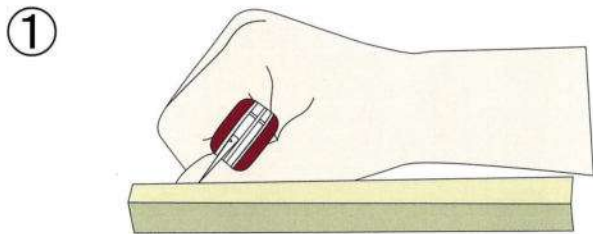
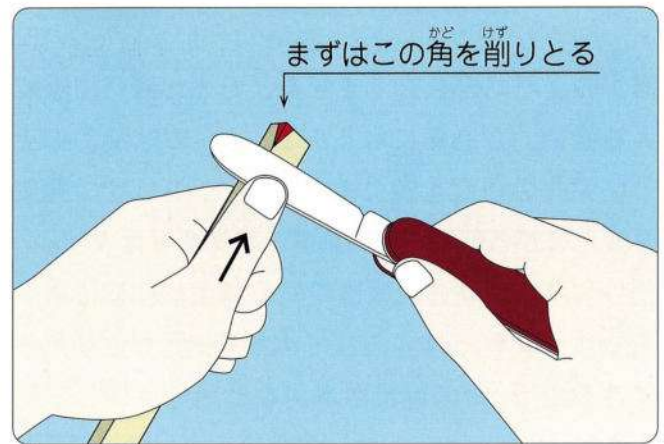


④ ナイフの背をバネの閉じる力が効くところまで押し、残り半分を閉じます。

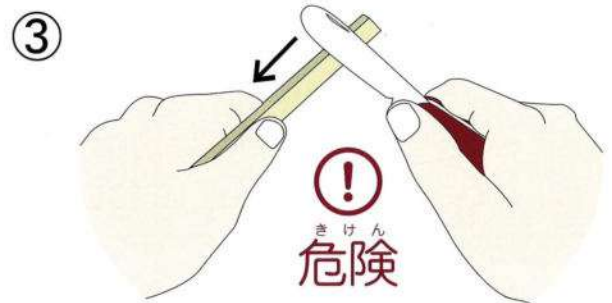


# 木や竹を削ってみよう

右ページの図のように、刃の向きを間違えないように注意しながら、木にナイフの刃をあてて、左手の親指の力でナイフの背(みね)をゆっくり押し出すようにして削ります。また、一度にたくさん削ろうとせず、少しずつ何度も削っていくことが思い通りに削るコツです。先端近くの角から始めると無理なく削れます。



図①のように刃を立てすぎると刃先が素材に深く入り強い力が必要になるので、はじめは図②のように刃先の角度を浅くあてて削り、少しずつ角度を変えながら削りやすい角度の感覚を覚えます。削りやすい刃先の角度は素材の種類や部位によって変わります。また、木目によっては刃が深く入りすぎるので、その場合は木目を反対向きにして削りましょう。

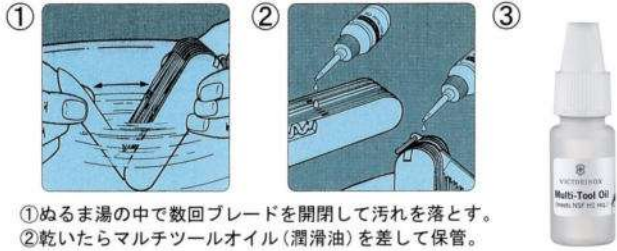


刃を手前に向けて切れ目を入れる時(図③)や、先端の面取り(図④)など、応用的な削り方も工作過程で必要な場合がありますが、刃の動く方向には手を置かないように注意しましょう。



## ビクトリノックス・マルチツールの 手入れを学ぼう

ステンレス鋼製の刃は、通常の使用で錆びるといことはまずありませんが、海水を浴びたり、塩分のある食材を切るのに使用したあとはかならず流水でよくすすいで乾燥させてください。また、ジョイント部に砂やごみがつまると刃の開閉がしにくくなるので、使い古した歯ブラシなどで掃除し、ぬるま湯の中で数回ほど刃を開閉して汚れを落とし、乾いたらマルチツールオイル（潤滑油/写真③）を差して保管してください。



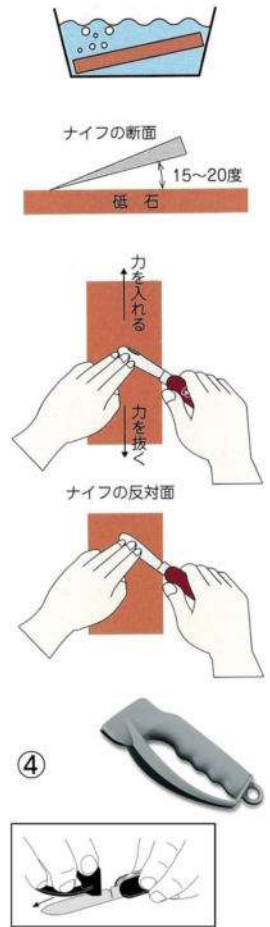
- ①ぬるま湯の中で数回ブレードを開閉して汚れを落とす。
- ②乾いたらマルチツールオイル（潤滑油）を差して保管。
- ③マルチツールオイルは、アメリカ・FDAの認可を持つ食品潤滑油を使用しています。少量なら口に入っても人体に害がありません。 本体価格 ¥700+税\*

ナイフは使用していると切れ味が落ちてきます。切れ味が鈍くなった時は、砥石での研ぎなおしをお勧めします。

ナイフの研ぎ方は、家庭用のステンレス鋼製両刃包丁の研ぎ方と基本は同じですので、インターネットの実演動画などを参考にしてナイフの研ぎ方を学びましょう。

### 【一般的な水砥石での研ぎ方】

- (1) 市販の水砥石（中砥）を水に浸し、よく砥石に水を含ませます。（砥石の取扱説明書に従ってください）
- (2) 刃先を手前に向け、ナイフの柄をしっかりと握ります。
- (3) 反対の手も刀身に軽く添え、刃の端を砥石のふちに合わせます。砥石と刃の角度を常に一定（15度～20度）に保つことが上手に研ぐためのポイントです。（角度の目安は10円玉1枚の厚みが刃の下に入る程度）
- (4) この状態で前へ押しときに力を入れ、手前へ引くときには力を抜きます。反対側の面も同じ要領で研ぎます。



### 【タッチアップ】

切れ味が落ちてきたら、シャープナー（ナイフシャープナー、写真④）を使うと、切れ味を簡易的にある程度まで回復することができます。

- ④ナイフシャープナー-S シャープナーは、小回りが利きマルチツールやペティナイフなどの小刀を研ぐのに適した、スライド式のナイフシャープナーです。約7cmのコンパクトさで、携帯にも便利です。 本体価格 ¥2,000+税\*

## 「小さな道具箱」ビクトリノックス

1884年、ビクトリノックスはスイスのイーバッハという小さな村で生まれました。創業者の名はカール・エルズナー。彼は1891年に、初めてスイス国内生産によるスイス陸軍用ナイフ「ソルジャーナイフ」を創り上げ、次いで1897年には、現在もほとんど形を変えずに世界中で愛され続ける「オフィサーナイフ」を考案しました。

創業から今日まで1世紀以上もの間、ビクトリノックスは探検家や宇宙飛行士とともに北極、エベレスト、そして宇宙の果てまで——と様々な場面で活躍してきました。もちろん、レジャーや毎日の生活においても世界中の人々に愛用され続けています。使った人にしかわからない「小さな道具箱」ビクトリノックスの魅力は次はあなたが発見してください。



創業者：カール・エルズナー



ソルジャーナイフ 1891



オフィサーナイフ 1897



スイス本社のイーバッハ工場